

# 区政Now！（29年9月号）

「区政は区民を幸せにするシステムである」・・・西川太一郎

11月29日



区では、待機児童対策を喫緊の課題として捉え、国家戦略特区の活用等工夫を凝らしながら保育所の開設を推進してきました。その結果、私が区長就任以来、2,563名もの保育定員の拡充をすることができました。

また、早期開設を目指している児童相談所をはじめ各分野における重要課題について、国や都へ来年度の施策や予算に関する要望書を提出してきました。今後もあらゆる機会を捉えて要望活動を行ってまいります。

今後とも、各方面において区民の皆様が幸福を実感できるような施策を実施してまいります。

引き続き、区民の皆様のご御理解、御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

ゆいの森あらかわ 来館者数32万4千人突破！（8月31日現在）

## 特別区区長会会長として国や都に働きかけを行っています

8月2日、東京都に来年度の都の政策や予算に関する要望書を提出しました。

今年度は、少子・高齢化対策、東京オリンピック・パラリンピック開催準備並びに安全・安心まちづくり等20項目を要望しました。これらは、都区双方が力を合わせて、緊密に連携・協力して解決すべき重要課題であり、広域行政の立場から都の積極的な取組について求めてきました。

また、29日には1府3省を訪問し、各大臣あてに要望書を提出しました。要望内容は、児童相談所設置に向けた財政支援及び国有地の活用、専門研修の充実等の児童相談所設置の促進や大規模水害時における広域避難に係る体制整備等の災害対策の充実など21の重点項目です。



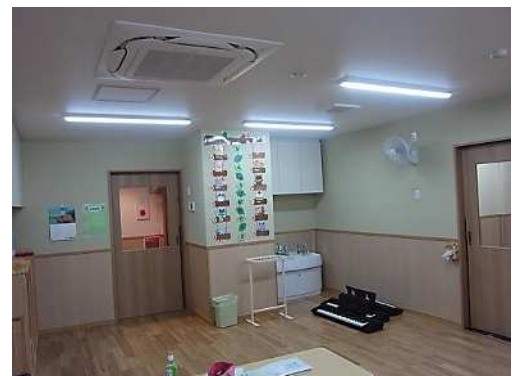
川澄副知事に要望書を手渡し

## 子育てしやすいまちを目指して

区では、子どもを産み育てやすい環境を整備し、すべての子どもが笑顔で健やかに育つことができるまちの実現を目指しています。

7月1日、町屋二丁目に「ういず町屋保育園」が開設しました。さらに、10月には、今後もマンション建設等により児童の増加が見込まれる日暮里地域に、「日暮里きらきら保育園」の開設を、30年4月には、新たに4園の私立認可保育園の開設を予定しており、272名の保育定員を拡充させる予定です。

未来を担う子どもたちが、安全で快適な環境の下、健やかに成長できるよう、今後も待機児童ゼロの実現を目指すとともに、保育の質の向上や、保育環境の充実に取り組んでまいります。



保育園内の様子

主な事業

## 関係団体等と防犯に関する覚書を締結しました

### 区内3警察署・荒川環境衛生協会と「防犯及び交通安全活動に関する覚書」を締結しました

7月20日、区内3警察署と荒川環境衛生協会との間で「防犯及び交通安全活動に関する覚書」を締結しました。

荒川環境衛生協会は、理容・美容、公衆浴場、クリーニング及び簡易宿所を生業とする265事業者を会員とする組織です。同会の業種は、特殊詐欺被害や交通事故に遭いやすい高齢者の利用も多いことから、日常の営業を通じて、情報発信や注意喚起を行っていただくことで、詐欺被害と交通事故の防止につながります。また、荒川環境衛生協会会長の申し出により、協会会員を「わがまちあんしん110番」に登録し、会員の各店舗を子どもたちの一時避難先としても提供していただくことになりました。

### 荒川区ウォーキング協会と「地域の安全・安心見守り活動に関する覚書」を締結しました

7月25日、荒川区ウォーキング協会と「地域の安全・安心見守り活動に関する覚書」を締結しました。

荒川区ウォーキング協会は、日頃から健康維持のために区内各地域でウォーキングを行っている組織です。「あらかわウォーキングパトロール」の腕章やストラップなどの見守りグッズを身に付け、区民に積極的な挨拶や声掛けを行うことにより、地域の絆を醸成していくとともに、認知症等で困られている高齢者や迷子等を発見した場合の声かけ、関係機関への通報等の、見守り活動も行っていただくことになりました。

今後も、事業者の皆様などによる見守り活動の輪を拡げていくとともに、警察署との連携をさらに強化し、「治安ナンバーワン都市」の実現に向けた取組を推進させてまいります。

主  
な  
事  
業



3警察署・荒川環境衛生協会の方々と



ウォーキング協会の方々と

## 汐入タワーのさよならイベントを開催しました

8月1日、平成23年に設置され、6年もの間、荒川区、特に汐入地区のシンボルとして愛されてきた汐入タワーのさよならイベントを開催しました。

当日は、制作者である芸術家の川俣正氏による制作時の思い出話の披露や、タワーから取り外した木材を使った記念品や楽器を作るワークショップの開催など、参加者が一体となった楽しいイベントとなりました。

その他の取り外した木材は、川俣氏の新たな作品として生まれ変わり、活用をされています。